

会議録

会 議 名		第 2 回大磯町立中学校給食施設建設準備会
開 催 日 時		令和 2 年 8 月 5 日（水）午前 9 時00分から午前11時20分まで
開 催 場 所		大磯町保健センター 2 階 研修室
出 席 者	会 長	林 正人会長
	委 員	宮代 とよ子副会長、高沢 研司委員、原田 康弘委員、 伊勢田 佳代子委員（代理）、鈴木 一成委員、 今井 恵委員、小宮 博子委員、鈴木 幸子委員、 小瀬村 昭委員
	事 務 局	教育委員会 教育部 学校教育課
議 題 及 び 公開・非公開の別		【議題】 1 今後の学校施設の改修について 2 自校方式による給食施設の建設について ア 国府中学校建設候補場所C案 イ 国府中学校建設候補場所新K案 ウ 意見交換 【公開・非公開の別】 一部公開（議題 1、2 ア、イのみ）
非公開の理由		審議会等の会議の公開に関する指針 3 のイ（会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生ずると認められる場合）に該当するため
審議等の概要		別紙のとおり
そ の 他		傍聴者12名 説明者 C 案 日本調理機株式会社 3 名 新K案 大磯の給食を考える会 2 名

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 今後の学校施設の改修について

事務局より資料 1 に基づき説明を行った後、質疑応答を行った。

○質疑

問：40 年間で改修と建替を両方行うことになるのか。

答：今後 40 年間の更新の費用について記載しており、改修費用と建替費用の両方に金額の記載のある建物は 40 年間で両方行うことになる。

問：大磯小学校の本館、南校舎については建替費用の記載がないが、建替は行わないのか。

答：今後 40 年間では建物の耐用年数に達しないため、建替は想定していない。

○意見

- ・資料 1 だけでは、これまでの各学校の改修の経過がわからないので、経過のわかる資料を作成してもらいたい。
- 次回の準備会で資料提供を行う。

(2) 自校方式による給食施設の建設について

ア 国府中学校建設候補場所 C 案

事務局より資料 2－1、資料 2－2、資料 2－3 に基づき説明を行った後、質疑応答を行った。（日本調理機株式会社からの回答も含む。）

○質疑

問：食器・食缶洗浄、食器消毒保管の機器について教えてもらいたい。

答：食器食缶洗浄機についてはコンベヤ方式となっており、食器を 1 枚ずつ洗うことができるようになっている。

また、3 槽シンクもあるので汚れのひどいものは手洗いもできる。
消毒保管庫は熱風を当てて食器を乾かし、消毒し保管を行う機器となっている。

問：検収室はどのような場所か。

答：届いた食材の検収を行う場所で、それぞれの食材に対して、数量、大きさ、届いた時間等の記録を行うようになっている。

問：検収室に記録を行うための机は必要なのか。

答：机は特に必要ない。秤で計量して、冷蔵が必要なものはすぐに冷蔵庫に保管する。

問：洗浄の際につけ置きはできるか。

答：資料２－３のカート洗浄と記載のある部分が移動シンクとなっており、そこでつけ置き洗浄ができる。

イ 国府中学校建設候補場所新K案

大磯の給食を考える会より資料３－１、資料３－２、資料３－３、資料３－４、資料３－５に基づき説明を行った後、質疑応答を行った。

○質疑

問：資料３－２の配膳室と書かれているところの横に記載のある黒い実線は何か。他の部屋に記載のある実線も同じものか。

答：床の排水のための溝を記載したものになる。

問：資料３－２の調理室のフライヤーと裁断機のための線は壁か。

答：壁と思われるが、確認する。

問：選定理由で校舎の影のため陽光を遮り空調経費の節約に寄与する
とあり、逆にC案では陽光が入り、空調経費がより多く掛かると
いうことだと思うが、C案でブラインド等により陽光を遮った場
合、調理に支障があるか。

答：問題はないと思う。(栄養教諭回答)

問：C案のように南側に給食室があると調理に影響があるか。

答：はっきりした答えはできないが、給食室が南側を向いている学校
もある。(栄養教諭回答)

問：栄養士の部屋が階段の下となっているのはなぜか。

答：事務室のような部屋ではないが、パソコンや書類等は置ける。

問：栄養士は検収室と事務室を行き来することが多く、この配置だと
遠いと思うが。

答：現場の方の意見を聞く機会がなかったので、改善方法を検討する。

問：洗浄時の食器の流れはどのようになるか。

答：資料３－２の洗浄室と記載されているところから下に向かって流
れる。

問：校舎と体育館の間の道幅が 3.7m となり、子どもの動線と車の動線が重なることについてどのように考えているか。

答：頻繁に学校の中を車が通ることは想定されないという考えのもとに、子どもと車が一緒に通行することは少ないと考えている。

問：体育館のトイレは外用と室内用に区分けされている。西側から入っても室内用のトイレに入ることになり、外用のトイレに入れる訳ではないが、そのことについてはどのように考えているか。

答：車椅子の方は西側からスロープを通過して、体育館に入り、室内トイレを使用することになるので、同じ運営の仕方を検討してもらいたいと考えている。

問：新 K 案の作成に対して設計士は関わっているか。

答：厨房機器メーカーである株式会社 A i H O（アイホー）に相談しながら作成した。

問：金額を抑えるということも大切だが、実際に働く調理員が働きやすい給食室を作ることも尊重すべきだと思えるが、その点についてはどのように考えているか。

答：日野市立平山小学校の給食調理員に直接、話を聞き、新 K 案にも反映させている。

問：校舎と給食室の間に壁はあるか。

答：給食室は校舎とは別に建設し、エクспанション・ジョイントで接続するように考えている。

○意見

- ・人口の減少等を踏まえて考えられている点やこれから校舎の改修工事等で予算が必要になるので、金額面が抑えられている点は良い。子どもたちのためにこのような案を考えていただき感謝している。

ウ 意見交換

国府中学校建設候補場所 C 案、新 K 案について、意見交換を行った。

◎国府中学校建設候補場所 C 案

- ・校舎の西側と給食室の西側を通過してグラウンドへ避難するので、このスペースを広く確保してもらいたい。
- ・新 K 案と比較すると広い給食室になっているので、よりコンパクトになるように設計の段階で検討する必要がある。

◎国府中学校建設候補場所新K案

- ・給食室は工夫されていることがわかったが、建設を行う場所が問題だと思う。災害や火災が発生した時に子どもたちが避難する経路が無くなってしまう心配がある。防災の専門家等に避難経路を確認してもらい安全を担保した方が良い。
- ・給食室が狭いと思う。動線が交差しないように調理ごとに動線図を作成する必要があるが、この新K案だと交差しない動線の作成が難しい。
- ・牛乳保冷库とパン棚が東側にあり、搬入は西側からだと思われるので、そこまで搬入車が入ることとなる。子どもと搬入車の動線が重なり、事故が心配である。
- ・栄養士の事務室が階段の下では労働環境上好ましくない。
- ・外トイレはスポーツ開放や地域の活動等で不特定多数の方が利用している。外トイレに体育館の中から入るのは、学校運営上、不都合が生じる。
- ・給食室が狭いので給食調理員が安全に作業できるのか疑問がある。建設した後に、安全に作業できないようでは困る。

◎両案

- ・調理員が働きやすい給食室にしてもらいたい。
- ・苦肉の策の給食室を建設するのではなく、皆で知恵を出し合い納得した給食室を建設してもらいたい。

◎その他

- ・どの学校も老朽化が進んでいる状況があり、中学校に給食室を新設するよりも小学校、中学校の給食室を1つにしてしまう等の検討を行うことも必要ではないかと考えている。この準備会とは別に10年後や20年後の先を見据えた学校の在り方について検討する会議を開催してもらいたい。
- ・保護者の間では、早く中学校給食が始まらないのかという意見も出ているので、スピード感を持って事業を進めてもらいたい。
- ・給食が休止してしまっている状況で困っている保護者には他の方法で支援を行うように検討し、学校施設だけではなく、町全体の施設のことも含めて、総合的に施設の再検討を行った方が良いのではないかと考えている。

- ・同地区に小学校、中学校が１校ずつということを活かして、給食室を建設することをゴールとせず、先を見据えた学校施設の計画を作成してもらいたい。

(3) その他

- ・特になし

4 閉会